

平成 29 年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

就実大学

平成 30 年 4 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料
就実大学薬学部実験動物施設管理運営規定、就実大学薬学部動物実験指針
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
基本指針に則した機関内規定が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当せず

2. 動物実験委員会

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料
就実大学薬学部動物実験委員会規定
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
基本指針に則した動物実験委員会が設置されている。
4) 改善の方針、達成予定時期
該当せず

3. 動物実験の実施体制

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料
計画書等の様式、計画書記入例、動物実験委員会における動物実験の審査基準、就実大学薬学部動物実験計画の申請（新規・継続・変更）および終了・中止報告の流れ

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に則して、動物実験計画立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 就実大学薬学部動物実験指針、遺伝子組み換え実験安全管理規定
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 安全管理に注意を要する動物実験に関連する規定が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 就実大学薬学部実験動物施設細則
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 基本指針に則して実験動物の飼養保管の体制が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験計画書、動物実験報告書、飼育管理日報、実験動物搬入・飼育依頼書、自己点検・評価表
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物実験計画の審査、飼養保管状況の把握、自己点検評価の実施において委員会の役割が十分に果たされている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験計画書、動物実験報告書、実験動物搬入・飼育依頼書
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 基本指針に則した動物実験計画の立案、審査、承認が実施されている。 実験計画書の作成の為に、詳細な記入例・動物実験計画の申請及び終了中止の流れを整備することにより、動物実験責任者の理解が進み、円滑な審査につながっている。 これまでよりも実験方法を詳細に記載して申請が求められているため、動物実験計画書の改訂がされた。動物実験計画書において使用動物数の算定根拠や苦痛度判断の根拠を明確にすることにより具体的実験方法の記載を整備した。改正は下記の4点 ① 苦痛カテゴリーの判断基準 申請者が記入する際、また審査する際にも苦痛カテゴリーを判断しやすいように、苦痛カテゴリーの基準を計画書に明記。 ② 苦痛軽減の方法 申請者が記入する際、また審査する際にも苦痛軽減の方法を判断しやすいように、軽減方

<p>法の種別を計画書に明記。</p> <p>③ 使用数の根拠 実験方法欄に記載するため、記載内容が増える前提で実験方法欄を予め大きくした。これは上記の苦痛カテゴリーの判断を明確にするために実験方法をこれまでよりも詳細に記載してもらうため。</p> <p>④ 実験の種類（試験・研究、教育・訓練、その他）欄、使用動物種及び数等に関する記入欄、委員会記入欄（修正意見欄、承認の可否）を追加。</p> <p>また動物実験報告書様式、実験動物搬入・飼育依頼書の改正も行われた。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず</p>

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料 該当せず</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 該当せず</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず</p>

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か? 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料 飼育管理日報、就実大学薬学部実験動物施設作業手順書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p>

基本指針に則した飼養保管がされている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず
5. 施設等の維持管理の状況 (機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか? 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)
1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 飼育管理日報、就実大学薬学部実験動物施設作業手順書
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 基本指針に則した維持管理がされている。 空調設備老朽化により外気温の極度の低下による飼育施設の空調がダウンする事例が発生した。空調設備のチェックと修繕により対応したが、設備の限界が近いと考えられるため、空調設備取り替え等の整備に関する要望を計画し、その結果、空調インバーターの修理が行われた。夏・冬の温度変化が激しい時など動物飼育室の温度逸脱した場合、迅速に対応できるよう遠隔計測監視システムを導入している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験に関する教育訓練資料、就実大学薬学部実験動物施設ホームページ
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 基本指針や実験動物飼育保管基準に則した教育訓練が実施されている。 教育訓練は動物実験に直接関わる研究室の教員・学生・共同研究者及び動物実験を行う研究室の教員・学生・共同研究者を対象となる。受講が動物実験実施及び参加の許可条件となる。

平成29年度は平成29年5月（120名）と平成29年9月（123名）の計2回開催した。

- 4) 改善の方針、達成予定時期
該当せず

7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験における自己点検・評価報告書、就実大学薬学部実験動物施設ホームページ

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

基本指針に則した自己点検・評価、情報公開がされている。
動物実験取指針、動物実験委員会委員構成、実験動物施設管理運営規定、動物実験の実施状況、実験動物の飼養状況、自己点検・評価報告書等を本学のホームページで公開されている。
平成28年度に第三者による検証、公私立実験動物協議会による「動物実験に関する外部検証事業」を実施し、平成29年度に検証結果報告を公開している。

- 4) 改善の方針、達成予定時期
該当せず

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし